

大石田町議会「行政調査」報告書

議 長	副議長	職	氏 名
		厚生産建常任委員長	村形 昌一
期 間		出張先	
令和5年6月27日(火)から 令和5年6月29日(木)まで 計3日間		北海道白老郡白老町議会、夕張郡栗山町議会、夕張郡長沼町議会	
用 件			
<p>通年議会制、政治倫理に関する取組。反問権について、議員の学校。ワーケーションを活用した移住施策。</p>			
報 告 大 要			
<p>白老町は平成10年より議会改革に取り組んでおり、現在は第5次改革、議会中に改革の意識が醸成されている。通年議会をはじめとする改革策を次々と打ち出し、住民との距離は当町よりも近く住民の町政関心も高い。これまでの取り組みが礎となり議会や議員力の向上につながっているのだろう。平成23年に政治倫理に関する条例を制定した事例も当町よりも改革色が強い事の表れだ。</p>			
<p>栗山町は議会基本条例を誕生させた町で当町からは2度目の訪問の様だ。当町では今年から反問権を導入した事もあり説明を受けた。反問権は大きな反響を呼んだ様で過去12回行われた事例があった。基本的には論点を整理するために議長の許可を得て行う様だが、中には町長が議員をボコボコにやっつける為に使った事もある様で、嫌いな議員をやっつける機会として、町長が「あいつ一般質問してこねえかなあ」とかと言ったという話を聞いて、曲解して使われれば議員の立場も随分と危ういものになり得る様に感じた。</p>			
<p>「議員の学校」として議員のなりて対策事業との事だが、議長としては、改革を標榜する栗山町も2回連続の無投票という事で中身や質を問われる様な事もあり、なめられるのはまかり通らん、との思いから議員のなり手発掘に取り組んだ様だ。受講者19名のうち3名が立候補し当選している。その中の新人議員は「熱量がすごかった」と振り返っており講師役だ合った副議長らの熱意が伝わってくる。レベルの高い議会だった。</p>			
<p>余談としてWBCの栗山監督は、そもそも地元若手の栗山JCが栗山つながりで縁を持ち植樹やグラウンド整備を手掛けるうちに転入し、北海道とつながった事で日本ハムファイターズの監督に招聘されたと栗山町の議員から聞いた。町をあげての優勝パレード直後の訪問というのも感慨深い。</p>			

長沼町はワーケーションとチームビルディング創生事業に取り組んでいる。2019年より北海道と共同で「関係人口創出・拡大事業」モデル事業を導入、翌年には「北海道型ワーケーション普及・展開事業」を立ち上げ、昨年より現事業を実施している。コロナ禍もあり思うような事業展開が出来なかったとの事だが昨年は32人101日の受け入れでワーケーションを通じた企業とのつながりを実現。中には自社のワーケーション施設を建設した会社もあるとの事だった。参加者は全て道外で、今後はチームビルディングプラン指導者やコワーキングスペース事業者や宿泊事業者とともに地域の人や企業との接点を増やしていくとの事であった。